

自然とともに ……水の恵み……



【土木学会選奨土木遺産】^{みつき}三滝ダム（鳥取県八頭郡智頭町）

2022.4.28 [木] ~ 5.15 [日] **入場無料**

会場 中電ふれあいホール 2階多目的ホール

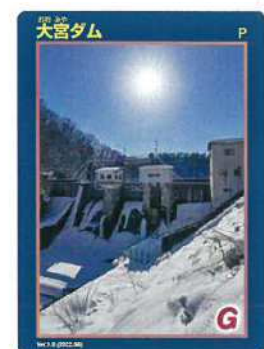
(鳥取県鳥取市片原1丁目201)

休館日 毎週火・水曜日、5月3日~5月5日

開館時間 10:00~17:00

主催 中国電力 東部水力センター

問合せ先 東部水力センター水力総括課
(TEL0859-31-3062)



期間中、会場でダムカードを配布予定

【中国電力のダム・水力発電所写真展にあたり】

人は太古より河川をせき止め田畑に水を引いたり、水車のエネルギーを活用して生活に役立て生命を繋いできました。水は地球上の大事な物質です。水力発電は、その水の「循環する姿（降雨～川～海～蒸発～雲～降雨）」の一部を、現代では電気という使いやすいエネルギーとして使わせていただいています。人々の体や植物等の大部分を構成する水は自然の大事な恵みです。社会生活にとって必要な水力発電の電気も、水の恵みの産物とも言えます。



帝釈川ダム



浜原ダム

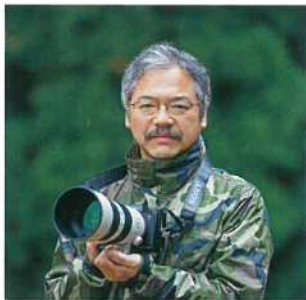


土用ダム

近年、カーボンニュートラルやSDGs（持続可能な開発目標）という言葉が聞かれます。水力発電は、水の循環により何度でも再生する純国産エネルギーであること、および二酸化炭素CO2を殆ど出さないクリーンなエネルギーであり再生可能エネルギーの本家本元として再認識されています。日本においては約130年前からある発電方式ですが、長きにわたり水の落差で電気を生み出し人々の豊かな生活と共に歩んできました。当たり前のように受けている水の恵みに感謝しながら、私達は水力発電を明日へ、未来へ確実に引き継いでいきたいと願っています。

今回の写真展では、東部水力センターエリア（鳥取県、島根県、岡山県等）にあるダム・発電所に光をあててみました。中国電力における水力発電所は、明治・大正・昭和・平成の各時代に先人達が建設・運転・保守してきました。これらの設備は、各地の自然の中で現在も現役として活躍し電気を生み、豊かな生活を支えています。撮影は、鳥取県南部町在住の写真家で近年国内外のコンテストで数多く受賞されている廣池昌弘氏によるものです。これらのダムや発電所が風景の一部として、美しい四季の中で佇む様子をどうぞご覧ください。

ひろいけ まさひろ
撮影：廣池 昌弘 氏



【プロフィール】

鳥取県在住、米子東高校、広島大学工学部卒。システムエンジニア&写真家
旧通産省認定 特殊情報処理技術者、第一種情報処理技術者
1999年 全国ホームページコンテストで2位を受賞しWEBシステム開発を始める
2005年 写真のスライドショーシステムを開発すると共に写真を本格的に始める

【主な受賞歴】

2015年 オリンパス・オープンフォトコンテスト グランプリ
2015年、2017年 ニッコール・フォトコンテスト 特選
2020年 Sony World Photography Awards Professional "Wildlife" 2nd place
2021年 B&W Minimalist Photography Prize2020 BEST 50 Photographers 他多数



黒坂発電所



湯原第二発電所



来島ダム



（会場）中電ふれあいホール

【電車】

鳥取駅下車1.2km。徒歩18分

【バス】

鳥取駅前から100円循環バス「くる梨」に乗車。「元町一丁目」下車、徒歩1分

【車】

鳥取駅から7分（駐車場：8台）

<https://www.energia.co.jp/area/tottori/entry/262.html>
〒680-0023 鳥取県鳥取市片原1丁目201
TEL0857-22-0354